

BAB III

METODE PENELITIAN

A. Metode Penelitian

Penelitian dapat didefinisikan sebagai suatu cara untuk memahami sesuatu melalui penyelidikan atau melalui usaha mencari bukti-bukti yang muncul sehubungan dengan masalah itu, yang dilakukan secara hati-hati sekali sehingga diperoleh pemecahannya (Wirartha, 2006:67). Dengan adanya penelitian manusia dapat memecahkan masalah yang terjadi disekelilingnya. Dalam melakukan penelitian suatu metode juga perlu untuk membantu penelitian agar berjalan dengan baik.

Metode adalah cara teratur yang digunakan untuk melaksanakan suatu pekerjaan agar tercapai sesuai dengan yang dikehendaki; cara kerja yang bersistem untuk memudahkan pelaksanaan suatu kegiatan guna mencapai tujuan yang ditentukan (Kamus Besar Bahasa Indonesia, 2008: 910). Dengan adanya metode, proses penelitian akan terlaksana sesuai dengan yang dikehendaki. Selain itu metode juga berfungsi agar pencapaian tujuan lebih efektif dan efisien. Jadi, metode penelitian adalah suatu cara untuk mencari kebenaran secara ilmiah berdasarkan disiplin ilmu yang bersangkutan sehingga dapat ditemukan jawaban dari suatu masalah.

Dalam penelitian ini metode yang digunakan adalah metode deskriptif analitik, yaitu penelitian yang dilakukan dengan cara mendeskripsikan fakta-fakta yang kemudian disusul dengan analisis (Ratna, 2007:53). Penulis melakukan

penelitian dengan cara mengumpulkan, meneliti data dari buku-buku referensi serta data sumber lainnya seperti buku pelajaran, novel, kamus dan hasil lainnya yang ditemukan dari beberapa situs internet yang berkaitan dengan masalah yang akan diteliti.

Penelitian ini bertujuan untuk mendeskripsikan makna yang terkandung dalam verba *omou* (思う) dan *kangaeru* (考える) yang memiliki makna “berpikir” serta menjelaskan persamaan dan perbedaan verba *omou* (思う) dan *kangaeru* (考える) dari segi struktur, makna serta penggunaannya dalam kalimat. Dengan begitu akan diketahui apakah kedua verba tersebut dapat saling menggantikan atau tidak dalam penggunaan kalimat.

Untuk generalisasinya dilakukan berdasarkan pada hasil analisis dari kedua verba tersebut yang berasal dari *jitsurei* (実例) dan *sakurei* (作例). *Jitsurei* (実例) adalah contoh penggunaan yang berupa kalimat dalam teks konkret seperti tulisan ilmiah, surat kabar, novel-novel dan sebagainya. *Sakurei* (作例) adalah contoh penggunaan yang dibuat oleh peneliti sendiri yang tingkat kebenarannya diterima umum (penutur asli) (Sutedi, 2008 : 127-128).

B. Objek Penelitian

Dalam penelitian ini, penulis mengambil objek penelitian mengenai makna verba *omou* (思う) dan *kangaeru* (考える). Alasan mengapa verba *omou* (思う) dan *kangaeru* (考える) dijadikan objek penelitian karena verba *omou* (思う) dan *kangaeru* (考える) memiliki makna yang hampir sama dan dalam penelitian

angket yang penulis berikan pada sample acak, masih terjadi kesalahan penggunaan terhadap kedua verba tersebut.

Berikut adalah daftar kalimat yang merupakan objek penelitian yang penulis lakukan :

Tabel 1 : Verba *Omou* (思う)

No	Kalimat	Sumber
1	私は彼は来ないと思っている。	Sakurei
2	日本語の文法について、もっと深く研究しなければならぬと思っています	Sakurei
3	初めて東京に来たとき、なんて人が多いのだろうと思った。	Nihongo Gakushuu Tsukai Wake Jiten
4	いつも不思議だと思うんだけど、超能力というのはほんとうにあるのだろうか。	Nihongo Gakushuu Tsukai Wake Jiten
5	連休にいなかへ帰ろうと思う。	Nihongo Gakushuu Tsukai Wake Jiten
6	心に思う恋人がいる。	Tsukai Wake no Wakaru Ruigo Reikai Jiten
7	子を思う母の心。	Tsukai Wake no Wakaru Ruigo Reikai Jiten
8	昔のことを思うとかなしくなる。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yourei Jiten
9	恋人を思う。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yourei Jiten
10	また山は寒いと思いますよ。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yourei Jiten
11	ゆびを切ったときはとてもいたいと思った。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yourei Jiten
12	来月出張しようと思っている。	Ruigigo Tsukai Wake Jiten
13	誰かと思ったら友人で、悩みを聞かされ、あれこれ一緒に考えこんだ。	Ruigigo Tsukai Wake Jiten
14	もっと勉強すればよかったと思う。	Shogaku Kokugo Jiten
15	あしたは晴れると思う。	Shogaku Kokugo Jiten
16	先生にあやめろうと思う。	Shogaku Kokugo Jiten
17	思うような品は手にいらない。	Shogaku Kokugo Jiten
18	入院している父のことを思う。	Shogaku Kokugo Jiten
19	子を思う親の気持ち。	Shogaku Kokugo Jiten
20	心の中で思う。	Kotoba no Imi 2
21	くやしい(つらい・恐ろしい・悲しい)と思う。	Kotoba no Imi 2
22	痛い(かゆい・寒い・暑い)と思う。	Kotoba no Imi 2
23	君の言うことのほうが正しいと思う。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yorei Jiten
24	日本語は、勉強すればするほど、難しいことだと思う。	Sakurei

Nur Rani Gumbira, 2013

Analisis Makna Verba *Omou* (思う) dan *Kangaeru* (考える) Sebagai Sinonim Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu

25	ジョギングはよい運動だと思う。	ejje.weblio.jp
26	日本は物価が高いと思います。	Shin Nihongo no Chukyuu
27	新しい空港についてどう思いますか。	Shin Nihongo no Chukyuu
28	．．．きれいですが、ちょっと交通が不便だと思います。	Shin Nihongo no Chukyuu
29	私は子供のころからずっと医者になろうと思っていました。	200 Essential Japanese Expression
30	父はこの結婚には反対するだろうと思う。	201 Essential Japanese Expression
31	日本に留学したいと思います。	Sakurei
32	お母さんは、いい人だと思ったんですよ。	Onna no Koufuku
33	彼は医者として成功するだろうと思う。	Sakurei
34	残念に思います。	tangorin.com
35	面白いように思います。	tangorin.com
36	私はあなたを誇りに思います。	tangorin.com
37	けれど、ぼくには、そのカメラでもまだ小さすぎるように思われた。	Kokoro Hoshi Tentou Mushi
38	彼の名前を思い出せない。	ejje.weblio.jp
39	両親の気持ちを思って家業に就くことにした。	tangorin.com
40	品川の水族館は思ったほど広くなった。	Nihongo Gakushuu Tsukai Wake Jiten
41	東京タワーは思っていたより低くてがっかりした。	New Approach Japanese Intermediate Course
42	現在の進行状態から見て、このビルの3月完成は無理だと思います。	Nihongo Gakushuu Tsukai Wake Jiten
43	日本は今後も食料の輸入が増えていくと思います。	Shin Nihongo no Chukyuu
44	彼はもう知っていると思ったものだから、伝えませんでした。	Nihongo Bunkei Jiten
45	他の店で買ったほうが良いと思うわ。	Partikel Penting Bahasa Jepang
46	日本をどう思おもいますか。	tangorin.com
47	一番大きな原因は家庭にあると思います。	Ryuugakusei no Nihongo
48	．．．いやもう少し待ちましょう。10分もすれば帰って来ると思いますよ。	Shin Nihongo no Chukyu
49	キャンプの参加者は50人ぐらいだろうと(思います/考えます)。	200 Essential Japanese Expression
50	あした雨が降ると思います。	Shin Nihongo no Chukyu
51	みんなが集まるので、パーティーはきっと楽しいだろうと思います。	200 Essential Japanese Expression
52	子供の将来を思うと心配なことばかりだ。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yorei Jiten
53	骨には異常ないと思いますが、念のためレントゲンを撮りましょう。	Shin Nihongo no Chukyu
54	彼女は病気なんだと思う。	tangorin.com
55	試験のことを思うと心配になる。	Sakurei
56	思い思われる仲である。	tangorin.com

57	パーティーで会って以来彼女のことを思うようになった。	kotobank.jp
58	負けてくやしい思う。	Tsukai Wake no Wakaru Ruigo Reikai Jiten
59	盲導犬の忠実さに頭の下がる思いがした。	Idiom Bahasa Jepang
60	目の前でオートバイ事故が起きた時は、肝をつぶすかと思った。	Idiom Bahasa Jepang
61	田中さんの話し方はひどいと思います。	Sakurei
62	子供のころのことを思う。	Tsukai Wake no Wakaru Ruigo Reikai Jiten
63	今でも寺子屋の芝居をみると、何だか昔がなつかしいように思われます。	tangorin.com
64	日曜日は映画を見たいと思っているの。	Sakurei
65	2月大阪へ参りますので、その時にお会いできたらと思っております。	Shin Nihongo no Chukyu
66	家族が日本へ来たら、京都に連れて行こうと思っ ているんです。	Shin Nihongo no Chukyu
67	夏休みに撮った写真をプリントしようと思っ てね。	Onna no Koufuku
68	会社をやめて、1年ぐらい留学しようと思っ ています。	200 Essential Japanese Expresion
69	彼は自分の将来について思い巡らせていた。	tangorin.com
70	映画の切符が2枚あるんだけど、一緒にどうか なと思って...	Sakurei
71	山田さんに結婚式の司会をしてもらえたらと思 っているんです。	Shin Nihongo no Chukyu
72	あの子はやっと勉強を始めたと思ったら、も う居眠りをしている。	500 Essential Japanese Expression
73	君は、本当にすまないと思っている。	Onna no Koufuku
74	おいしいと (思う/*考える)。	Tsukai Wake no Wakaru Ruigo Reikai Jiten
75	今日は寒いと (思います/*考えます)。	Sakurei
76	ああ、びっくりした。胸がつぶれるかと (思 った/*考えた)。	Idiom Bahasa Jepang
77	恋人 (故郷) のことを (思う/考える)。	Kotoba no Imi 2
78	僕は彼女は来ないと (思う/考える)。	Kotoba no Imi 2
79	彼は彼女は来ないと (思っている/考えてい る)。	Tsukai Wake no Wakaru Ruigo Reikai Jiten
80	明日は雨だと (思います/考えます)。	Kotoba no Imi 2

Tabel 2 : Verba Kangaeru (考える)

No	Kalimat	Sumber
1	私は彼は来ないと考えている。	Sakurei
2	日本語の文法について、もっと深く研究しなければ	Nihongo Sakubun no Houhou

Nur Rani Gumbira, 2013

Analisis Makna Verba *Omou* (思う) dan *Kangaeru* (考える) Sebagai Sinonim
Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu

	ならないと考えています。	
3	試験勉強をしたなかったので、この問題はいくら考えてもわからない。	Nihongo Gakushuu Tsukai Wake Jiten
4	成人式を迎えたのだから、これからはよく考えて行動しなさい。	Nihongo Gakushuu Tsukai Wake Jiten
5	アルキメダスが入浴中に「アルキメダスの原理を考えついた話は有名だ。	Nihongo Gakushuu Tsukai Wake Jiten
6	税制問題を考える。	Tsukai Wake no Wakaru Ruigo Reikai Jiten
7	新しい方法を考える。	Tsukai Wake no Wakaru Ruigo Reikai Jiten
8	この問題を君はどう考えるか。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yourei Jiten
9	ひとばんじゅう考えぬいて(よくよく考えて)やめることにした。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yourei Jiten
10	夏は海へ行こうと考えている。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yourei Jiten
11	あなたが考えるよりはずっとむずかしい仕事だ。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yourei Jiten
12	学校時代の生活を考えるとたのしいことばかりだ。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yourei Jiten
13	そのほうがかんたんだと考えてしたことだ。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yourei Jiten
14	このきかいを考え出した(初めてくふうして作った)のは日本人だ。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yourei Jiten
15	悩みを聞かされ、あれこれ一緒に考えこんだ。	Ruigigo Tsukai Wake Jiten
16	しょうらいのことを考える。	Shogaku Kokugo Jiten
17	無線のしくみを考えた人。	Shogaku Kokugo Jiten
18	頭(の中)で考える。	Kotoba no Imi 2
19	じゅっくり(一生懸命・とくと・論理的に)考える。	Kotoba no Imi 2
20	英語で考えるのは難しい。	Kotoba no Imi 2
21	人生を考える。	Tsukai Wake no Wakaru Ruigo Reikai Jiten
22	月の世界のことを考えてみよう。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yorei Jiten
23	きのう君の言ったことを考えるとじつにはずかしい。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yorei Jiten
24	子供たちの事を考えている。	Onna no Koufuku
25	その問題を良く考えるべきだ。	tangorin.com
26	もっとすずしいところだと考えていた。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yorei Jiten
27	来年は、日本へ行こうと考えています。	Sakurei
28	泥棒は二階の窓から入ったものと考えられる。	Nihongo Bunkei Jiten
29	私は、いつか彼をすばらしい先生になると考えている。	Sakurei
30	原因は何が考えられますか。	tangorin.com
31	それは君が考えるほどむずかしくない。	tangorin.com
32	冷静に考えて見ろよ!	tangorin.com

33	そう深刻に考えるな。	tangorin.com
34	係わることを真剣に考えていますか？	tangorin.com
35	どうしてそんな風に考えるのですか。	tangorin.com
36	私はその問題についてじっくり考えた。	tangorin.com
37	人間は考える動物だ。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yorei Jiten
38	こんなことは考えられない。	tangorin.com
39	多くの親は子供に考えることよりも、試験に受かるための暗記をすすめます。	Ryuugakusei no Nihongo
40	論理的に考えるのが苦手。	tangorin.com
41	魂は不滅だとプラトンは考えた。	tangorin.com
42	明白な真実と認められる考え。	ejje.weblio.jp
43	この間、河越館は河越氏の居館として継続して用いられたものと考えられる。	ejje.weblio.jp
44	死者は百人以上と考えられる。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yorei Jiten
45	一般的に英語は世界の共通語だと考えられているが、実際には英語が通じない国はいくらかもある。	Nihongo Bunkei Jiten
46	彼の姉はいろいろなことを考えすぎる。	Sakurei
47	ここの答えが違いますよ。もう一度よく考えなさい。	Sakurei
48	頼みごとをしたところ、「じゃ考えておきます」と言われました。	Shin Nihongo no Chukyu
49	よく考えて口をきくものだ。	ejje.weblio.jp
50	アルバイトは少しやってみようかなと考えています。	Sakurei
51	仕事を換えようと考えました。	Sakurei
52	私は来年彼女と結婚しようと考えている。	Nihongo Kihon Doushi Youhou Jiten
53	年取った母のことを考えれば帰国したければなるまい。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yorei Jiten
54	彼女の将来を思って、彼は身を引いた。	Idiom Bahasa Jepang
55	しょうらいどうするのか、ゆっくり考えなさい。	Sakurei
56	彼は自分の将来のことを考えると不安であった。	Sakurei
57	万一のことを考えて、貯金をしておくほうがよい。	Shin Nihongo no Chukyu
58	海外に転勤が決まって、家族と一緒にいくかどうか、いろいろ考えましたが、やはり子供の教育のことを考えて一人でいくことにしました。	Shin Nihongo no Chukyu
59	その犠牲者はまちがって大量の毒を飲んだと考えられる。	ejje.weblio.jp
60	ひとりのときは彼のことばかり考えている。	tangorin.com
61	その両親は子供の病気が治るなら、全財産を捨ててもいいとまで考えていた。	Gaikokujin no Tame no Kihongo Yorei Jiten
62	恋愛について考える。	Sakurei
63	死んだ戦友のことを（思え/考え）。	Kotoba no Imi 2
64	この人骨は縄文期のものではないと（思います/考え	Kotoba no Imi 2

Nur Rani Gumbira, 2013

Analisis Makna Verba *Omou* (思う) dan *Kangaeru* (考える) Sebagai Sinonim Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu

	ます)。	
65	来月出張しようと (思っている/考えている)。	Ruigigo Tsukai Wake Jiten
66	親の身なって (*思う/考えて) みれば、そんなにわがままばかり言えないはずだ。	Idiom Bahasa Jepang
67	なぜ失敗したのか (*思う/考える)。	Tsukai Wake no Wakaru Ruigo Reikai Jiten
68	数学の問題を (*思う/考える)。	Tsukai Wake no Wakaru Ruigo Reikai Jiten
69	新しい型の装置を (*思う/考える)。	Kotoba no Imi 2
70	日本の将来を (思う/考える)。	Tsukai Wake no Wakaru Ruigo Reikai Jiten
71	僕はこれは間違いだと (思う/考える)。	Kotoba no Imi 2

C. Instrumen dan Sumber Data

Instrumen yang digunakan dalam penelitian ini adalah penulis sendiri karena penulis sendiri yang melakukan pengumpulan data. Selain penulis sendiri instrumen lain yang digunakan adalah dengan alat bantu berupa kartu data yang diperoleh dari mencari contoh kalimat sebanyak-banyaknya yang mengandung verba *omou* (思う) dan *kangaeru* (考える) yang dilakukan pada saat pengumpulan data. Sumber data dalam penelitian ini berupa kalimat yang terdapat dalam novel, buku pelajaran, kamus dan lainnya.

Adapun sumber data *jitsurei* (実例) yang memuat verba *omou* (思う) dan *kangaeru* (考える) dalam penelitian ini diambil dari beberapa sumber seperti :

1. *Nihongo Gakushuu Tsukai Wake Jiten* (Masayoshi Hirose dan Kakuko Shoji. 1994)
2. *Tsukai Wake no Wakaru Ruigo Reikai Jiten* (Norimasa Satou, 1994)
3. *Gaikokujin no Tame no Kihongo Yourei Jiten* (Asano Tsukuru, 1983)
4. *Ruigigo Tsukai Wake Jiten* (Tian dan Izuhara, 1998)
5. *Shogaku Kokugo Jiten* (Kindaichi Haruhiko)

6. *Kotoba no Imi 2* (Shibata, 1979)
7. *New Approach Japanese Intermediate Course* (2004)
8. *Nihongo Sakubun no Houhou* (2002)
9. *Shin Nihongo no Chukyu* (2004)
10. *200 Essential Japanese Expression* (Etuko, 2000)
11. *Nihongo Bunkei Jiten* (Sagawa, 1998)
12. *Partikel Penting Bahasa Jepang* (Naoko, 2004)
13. *Ejje.weblio.jp*
14. *Kotobank.jp*
15. *Tangorin.com*
16. Dan beberapa literatur lain yang relevan.

D. Teknik Pengumpulan Data

Teknik pengumpulan data yang digunakan dalam penelitian ini adalah studi literatur. Dengan teknik ini penulis mengumpulkan, memilih, mengklasifikasikan dan menganalisis makna *omou* (思う) dan *kangaeru* (考える) dari sumber berupa *jitsurei* (実例) dan *sakurei* (作例), yang berasal dari contoh-contoh kalimat yang digunakan dalam buku-buku pelajaran bahasa Jepang, novel, kamus, penelitian terdahulu dan situs internet.

E. Teknik Analisis Data

Teknik Analisis data yang digunakan pada penelitian ini adalah teknik permutasi (pertukaran) atau teknik substitusi (pergantian). Teknik ini digunakan

untuk dapat membedakan makna dari suatu kata dengan melakukan pertukaran kedua verba yang dijadikan objek dalam penelitian ini pada kalimat, sehingga dapat diketahui apakah verba tersebut dapat saling menggantikan atau tidak dalam sebuah kalimat dan dapat mengetahui dalam kalimat seperti apakah kedua verba tersebut dapat saling menggantikan atau tidak dapat saling menggantikan. Dengan begitu akan diketahui persamaan dan perbedaan dari kedua verba tersebut.

Adapun langkah-langkah yang akan dilakukan adalah sebagai berikut :

1. Tahap Penyediaan Data

- a. Mengumpulkan data-data yang berasal dari buku-buku sebagai referensi seperti, kamus, buku pelajaran dan website yang membahas mengenai verba *omou* (思う) dan *kangaeru* (考える).
- b. Mencari hasil penelitian terdahulu mengenai makna-makna yang terkandung dalam verba *omou* (思う) dan *kangaeru* (考える).
- c. Mengumpulkan contoh-contoh kalimat *jitsurei* (実例) maupun *sakurei* (作例) yang mengandung verba *omou* (思う) dan *kangaeru* (考える).
- d. Memberikan catatan kaki pada masing-masing kalimat.
- e. Memilih kalimat yang akan digunakan dengan membuang yang dirasa tidak diperlukan.
- f. Mengklasifikasikan masing-masing contoh kalimat kedalam beberapa kriteria yang sudah ditentukan dalam kartu data.

2. Tahap Analisis Data

- a. Dari data-data yang terkumpul akan diklasifikasikan terlebih dahulu dalam beberapa kelompok yang dilakukan menurut pertimbangan penulis.
- b. Selanjutnya data-data tersebut akan dianalisis dari segi struktur, makna serta penggunaannya dalam kalimat.
- c. Mencari persamaan dan perbedaan dari kedua verba tersebut baik segi struktur maupun makna.
- d. Melakukan teknik substitusi untuk mengetahui apakah kedua verba tersebut dapat saling menggantikan atau tidak dalam kalimat.

3. Generalisasi

Pada tahap ini akan diambil kesimpulan yang dilakukan berdasarkan dari data hasil analisis yang diperoleh dari *jitsurei* (実例) dan *sakurei* (作例). Pada tahap ini diharapkan dapat diperoleh kesimpulan yang jelas. Dengan begitu hasilnya diharapkan dapat digunakan untuk meminimalisir kesalahan yang terjadi dalam penggunaan kedua verba tersebut.